

公益財団法人 東大阪市文化振興協会 平成31年度事業計画

平成31年度公益財団法人東大阪市文化振興協会の事業計画は、次に定めるとおりとする。

公益目的事業

地域文化芸術の振興並びに児童文化の育成を図る事業

市の文化施設を活かした様々な事業の企画及び実施により、市民が文化芸術等に対する理解と親しみを深めていただき、合わせて事業に積極的に参加できる環境づくりの推進を図り、市民の文化芸術スポーツ活動をより活発化させることで、潤いのある豊かな地域社会の実現を図ることを目的とします。

事業内容

(1) 文化芸術の振興を図るための催し物、講座及び展示等の実施に関する事業

東大阪市民美術センター

市民に親しまれる文化振興の活動拠点として、内外の優れた芸術作品を紹介する特別展示の開催や、市内の文化団体や各種グループの文化活動の成果・作品を発表する場として、あるいは茶室を利用したお茶会に利用していただけます。

また、市民の創作活動のてがかりを提供する各種講座や美術講演会の開講など、市民の文化芸術の推進を図ります。

◇主な事業

① 特別展示

- ～愛する風景に暮らす画家～ ブライアン・ウィリアムズ展

(予定 5月15日～6月16日)

大学の卒業旅行で世界中を旅し、途中に立ち寄った日本の自然に魅せられて卒業後、琵琶湖西岸にアトリエを構えて40年、日本だけでなく世界中の自然を描き、特に琵琶湖近郊の風景を愛し描きつづけている。

近年、二次元的な絵画も必ずしも平面でなくても良いという考えの基に優雅な曲線の輪郭と画面の曲がり具合を作り上げ、描く過程にある。

今回、平面作品と曲面作品の両方を見比べられるように、作品を展示します。

○ ～故郷からのおくりもの～ 高橋まゆみ創作人形展

(予定 7月20日～8月25日)

長野県飯山市在住、日本創作人形学院で人形作りを学び、試行錯誤を経て現在の創作人形を制作、2003年から「故郷からのおくりもの」実行委員会プロデュースによる全国巡回を展開。2010年まで全国95ヶ所で180万人を動員し、2010年に記念館オープン。

今回、田舎の素朴な風景、人情を魅せてくれる人形たちを当美術センターにおいて、老若男女を問わず楽しめる展示を計画しています。

○ (仮称) 没後30年須田剋太展 SUDA Kokuta MANDALA

～今、蘇る、須田剋太ワールド 抽象・具象・書～

(予定 2020年2月1日～3月15日)

東大阪市民美術センターでは、開館以来約10年間、須田剋太の「街道をゆく」の挿絵原画展を開催しました。

今回、須田剋太画伯は没後30年の節目にあたり当センターに於いて抽象・具象・書作品を展示し、須田剋太画伯の世界を見ることの出来るように、大阪府のコレクション以外に、未発表作品などの作品も借り受けて展示します。

○特別展開催期間中、作家、専門職員及び監修者による作品解説等を予定しています。また、ワークショップやグッズ販売等も予定しています。

② 企画展

○ (仮称) 「写真で見る町工場」 予定 (予定 8月28日～9月8日)

本年9月15日からのラグビーワールドカップ開催期間中は展示室等の利用が出来なくなることから、ワールドカップ開催前に海外の来館者も予想されるため、近畿大学や美術センター登録写真団体に協力していただき、市内の町工場、製作風景等の写真を展示し東大阪市をアピールします。

○出張美術展 (予定 9月初旬)

ラグビーワールドカップ開催期間中は展示室等の利用が出来なくなることから、美術センター外で作品展示を開催します。

タイトル、展示内容は未定。会場は鴻池新田会所。

○第4回若手アーティスト支援事業 (予定 11月20日～12月1日)

若手アーティストの創作活動を支援するため、発表の場や機会を提供し、育成に取り組めます。

公募形式による開催を予定しています。

○第19回「そうさく展」 (予定 12月6日～15日)

過去に「創作講座」を受講し、活動を続けておられる修了生を対象に、水彩画・油彩画・パステル画等の作品展です。

○子どもラグビー絵画公募展（12月18日～2020年1月7日）

「ラグビーのまち東大阪」を担う子どもたちに、ラグビーをもっと知っていただき、関心をもっていただくため、絵画を公募し展示します。

○常設展示場（1階）

・特別展予告展示「ブライアン・ウィリアムズ」 油彩/水彩画

（4月2日～6月16日）

・収蔵作品による展示（6月17日～7月19日）

・特別展「高橋まゆみ人形展」の一部展示（7月20日～8月25日）

・収蔵作品による展示（8月27日～9月14日）

・収蔵作品及び借用（大阪府）による展示（10月20日～11月4日）

・若手支援事業関係の展示（11月20日～12月1日）

・特別展予告展示「須田剋太挿絵原画展」（11月6日～2020年3月8日）

③ 第7回「ナイトミュージアム」（11月30日）

うるおいや安らぎを感じながら、質の高い文化芸術にふれる機会を提供するため、市民美術センターを夜間も開館しライトアップ、いつもとは異なる市民美術センターを演出します。

④ 創作講座等

○受講生を募集し、創作講座を開催します。

・63期 「はじめてのデッサン教室」「はじめての水彩画教室」（4月～6月）

・64期 「親子油彩教室」「はじめての水彩画教室」（7月～9月）

・65期 「はじめてのパステル画教室」「はじめての鉛筆デッサン教室」

（2020年1月～3月）

・「サンデーデッサン教室」（年10回）

○「夢をかたちに展」（6月・10月・3月）

それぞれの講座終了後、受講生の作品発表の場として開催します。

⑤ ひるさがりロビーコンサート

団体の展示会期中に月1回（土日等）程度の開催を目標として、各種楽器演奏やコーラスなどを開催します。

⑥ ボランティア活動の受け入れ

特別展などの会期中に、展示室内の監視・受付をはじめ、1年を通じてセンター周辺及び庭園等の清掃・灌水活動の協力を受け入れます。

(2) 科学、文化教室、演劇、演奏会及びスポーツ活動等を通じて、児童文化の育成を図る事業

東大阪市立児童文化スポーツセンター

子どもたちが楽しみながら科学・文化・スポーツについて知識や技能を身につけるとともに、自発的に参加・体験、相互交流の中で、学習意欲の向上、健全な人間関係が構築されるなど、より広い視野で育ち豊かな感性を育めるような各種教室・事業を展開します。

◇主な事業

① プラネタリウム

「通年：平日4回、日祝5回投影」

季節ごとにテーマを変え、子どもたちが宇宙や星に関心をもてるような番組や学校園等団体向けの各学年に応じた学習番組を企画し投影します。

② 常設（科学）展示室

「通年展示」

宇宙と人間を基本テーマとし、宇宙・地球・人間・科学のふしぎについて、展示物を通じて子どもたちが楽しく体験しながら学習できるコーナーです。

③ スポーツホール

「通年：1日5回入れ替え制」

子どもが、安全に思い切って体を動かせるよう床全面にソフトマットを敷き、大型遊具や一輪車等、子どもたちがいろいろな遊具を使って「遊び」を創り出し、飛び跳ねたり、転がったり、運動の楽しさと喜びを味わう運動広場で、安全面・衛生面でも質の高いサービスを提供しています。

④ 多目的文化ホール

団体または個人に条例に基づいて施設を利用していただきます。

日頃学校園では鑑賞する機会の少ない優れた児童演劇や音楽・映画の鑑賞、活動成果の発表、文化活動を続けている子どもたちの発表の場を提供します。

また、様々な文化に触れることで感性豊かな人間の育成を図り、表現力を高めます。

⑤ 教育普及事業および自主事業

○「星空教室」

プラネタリウムでの星空観察を中心に、天体観測実習、野外観察やプラネタリウムを使った実習や工作なども交えた教室です。

○「星をみる会」

当日無料で参加できるファミリー向け天体観望です。

- 「星空たんけん隊」(8月26～27日・12月)
光害の影響がなく満点の星が見れる宿泊施設にて行う天体観察会です。
- 「生物教室」
野外観察や顕微鏡を使った実習などを交えた継続的な教室です。
- 「ものづくり教室」
親子陶芸、七夕かざりなど、手作りの楽しさを体験してもらう教室です。
- 「ハンドベル教室」
ハンドベルの演奏習得、合奏の楽しさを味わう教室です。
- 「バイオリン教室」
バイオリンの演奏習得、合奏の楽しさを味わう教室です。
- 「書道教室」
楽しみながら習字を経験し技術を高める教室です。
- 「児童文化スポーツセンター児童劇団(フラップトリップ)」
小学生から高校生までの劇団で演劇を通して、自立した個人として成長することを中心とした活動を行ないます。
- 「児童文化スポーツセンター管弦楽団(チェルボ)」
社会人の管弦楽団で中高生の研究生を募集しています。また、秋と春には定期演奏会を開催しています。
- 「バレエ教室」
クラシックバレエを楽しみながら経験し技術を高める教室です。
- 「幼児教室(わいわいキッズ)」
就学前の子どもと保護者が楽しみながら心と体の触れ合う教室です。
- 「英会話教室」
リトミックや手作り教材で学び、乳幼児の時期から英語に親しむ教室です。
- 「なわとあそぼう!教室」
なわとびを通して身体の使い方やリズムの取り方を学び、体を動かすことを楽しむ教室です。
- 「1・2歳児の親子ふれあいあそび教室」
手遊びやマッサージ、体操などのふれあいで親子のコミュニケーションアップを目指す教室です。
- 「囲碁教室」
囲碁の打ち方、ルールなどから始める初心者向けの教室です。
- 「将棋教室」
将棋の打ち方、ルールを学ぶ入門クラスと、戦法等のアドバイスが受けられる初級クラスがあります。

- 「子どもの日ゆめ劇場」(5月5日、6日)
文化芸術・音楽会の公演です。
- 「子ども映画サロン」(5月25日、26日・11月3日、4日・1月12日、13日)
年3回程度、子ども向けの楽しい映画の鑑賞会です。
- 「子ども文化劇場」
日ごろ触れる機会の少ないコンサートや舞台公演です。
- 「演劇団体鑑賞会」(11月11日～15日)
学校園での開催がしにくくなった児童演劇などの鑑賞会です。
- 「プラネタリウムドームコンサート」(8月12日・12月)
プラネタリウムドームでのコンサートを開催します。
- 「ロビーイベント」
1階ロビーでの個展、コンサート等を開催します。
- 「夏休み工作教室」(7月27日)
夏休みの宿題にも役立つ自由で楽しいイベントです。
- 「夏休み一輪車教室」(7月23日～25日)
一輪車の正しい乗り方など、基礎から楽しみながら技術を高める教室です。
- 「夏休み特別展」(8月8日～18日)
毎年テーマを決めて、夏休み期間中に実施します。
- 「子どもお祭り広場」
家族で楽しめる「ふれあいの場」です。
- 「クリスマス発表会」(12月15日)
ハンドベル、バイオリン教室、児童劇団フラップトリップに参加した子ども達の発表会です。
- 「教室発表会」(3月14日、15日)
各種教室に参加した子どもたちの集大成としての発表会です。
- 「子ども文化祭」(3月)
文化活動の取り組みをしている子どもたちのグループに、発表の場を提供します。
- 「世界のいきもの大集合」(6月・8月・9月)
世界のクワガタ・カブトムシ・爬虫類・両生類の展示、頒布をします。
- 「伝統文化事業」(9月・1月)
獅子舞・お茶会・箏曲などの伝統的な文化にふれる事業です。

⑥ 連携

- 「市や他施設との連携」
市や民間企業、他施設と連携し、さまざまな共催事業を企画し実施します。
- 「地域との連携」
地元商店街との連携を図ります。

- 「子ども会との連携」
東大阪市子ども会育成連絡協議会との連携を図ります。
- 「消費生活体験教室」(7月30日)
工作体験を通じて、自然エネルギーや地球環境問題について学びます。
- 「大学との連携」
近畿大学・大阪樟蔭女子大学・大阪商業大学・大阪芸術大学等との連携を図ります。
- 「大学生プラネタリウム」(5月18日・8月17日・10月19日・2月15日)
大阪教育大学・近畿大学・神戸大学・大阪大学・立命館大学の天文サークル等の学生が投影の練習を行うことで、プラネタリウムの普及啓発・産学連携・後継者育成を目指します。

⑦ その他

- 「研修」
館内外において職員や教員等の研修を実施しており、全国プラネタリウム連絡協議会や大阪プラネタリウム連絡協議会等への参加をします。
- 「職業体験学習等の受け入れ」
学校園からの依頼により職業体験・仕事の聞き取り学習等の受け入れを行いません。
- 「プラネタリウム番組制作」
東大阪市の偉人を題材に、オリジナルの番組を制作します。

(3) 郷土の文化遺産に関する資料収集と保存及び公開普及を図る事業

東大阪市立郷土博物館

東大阪地域の歴史・文化財の調査・研究の成果並びに考古・民俗その他の各種資料の収集・保存・管理を行うとともに、各種資料を基に展示事業・講座を開催し、四季に応じた昔の暮らしをテーマとした体験学習や春・秋の史跡ハイキング等の企画を通じて、市民が郷土文化や歴史に関する学習を深め理解し、郷土を愛する豊かな心を育めるよう普及啓発事業を図ります。

◇主な事業

① 展示

○常設展示「かわちのくに」展 (4月1日～2020年3月31日)

これまでの発掘調査や市民からの寄贈資料を通して、市内に人々が暮らし始めた約2万年前から昭和時代までの郷土の歩みを時代順に振り返ります。歴史的内容であることから、小学6年生の社会科や総合学習との連携を図ります。

- ・展示解説1「東大阪のあけぼの」(旧石器時代) 4月6日
- ・展示解説2「東大阪のあけぼの」(縄文時代) 7月6日
- ・展示解説3「東大阪のあけぼの」(弥生時代) 8月3日
- ・展示解説4「東大阪のあけぼの」(古墳時代) 8月31日
- ・展示解説5「東大阪のあけぼの」(奈良・平安時代) 10月5日
- ・展示解説6「東大阪のあけぼの」(鎌倉・室町時代) 11月30日
- ・展示解説7「東大阪のあけぼの」(江戸時代) 2020年2月1日
- ・展示解説8「東大阪のあけぼの」(明治時代以降) 2020年2月29日

○春季企画展示「ものづくりのまち東大阪―すまいづくりのあゆみ―」展

(4月1日～9月1日)

常設展示と並行して市域をとりあげた展示。本年度はものづくりのまち東大阪のすまいづくりのあゆみを振り返ってみます。

- ・展示解説「すまいづくりのあゆみ」 (5月5日)

○夏季企画展示1「河内木綿と節句のぼり―」展 (6月4日～7月7日)

博物館に収蔵されている資料のなかから節句のぼりを展示します。

- ・展示解説「河内木綿と節句のぼり」 (6月8日)

○夏季企画展示2「 舶来品 」展 (7月9日～9月1日)

博物館に収蔵されている資料のなかから舶来品を展示します。

- ・展示解説「 舶来品 」 (7月13日)

○特別展示「トライ人との共生」展（9月12日～12月1日）

担当学芸員が調査・研究した成果を市民に公開します。平成31年度は、海をこえてきた人との交流をとおして郷土の歴史をより深く理解していただきます。

・展示解説「トライ人との共生」（10月12日）

○冬季企画展示「昭和の東大阪とオリンピック・万博」展

（12月12日～2020年3月1日）

昭和時代の東大阪のくらしを市民から寄贈された民具類をとおして、振り返ります。小学3年生の学習内容に沿った展示で、小学校との連携を図ります。

また、実物の民具に触れ、使用体験ができるコーナーを併設します。

・展示解説 仮題「昭和の東大阪とオリンピック・万博」（2020年1月11日）

○春季企画展示「ものづくりのまちー古墳づくりー」展

（2020年3月12日～9月6日）

常設展示と並行して市域をとりあげた展示。東大阪での古墳づくりの様子を紹介します。

② 体験学習等

○「いなだももを育ててみよう」（5月3日）

いなだももは、江戸時代に河内地域で盛んに栽培され、全国的に知られていました。いなだももの苗木の無料配布をとおして、郷土の歴史について理解を深めていただきます。

○春の体験イベント「染めものと昔あそびをたのしもう」（5月6日）

博物館周辺にある自然素材を使って染めものに挑戦するとともに、笹船や花の髪飾りを作成し、昔あそびを楽しんでいただきます。

○夏休み親子手づくり教室「船形埴輪・万華鏡、ミニラグビーボールをつくろう」

（7月21日）

竹・貝・粘土を使って船形埴輪・万華鏡、ミニラグビーボールをつくります。作品の一部は、夏休み期間中ロビーで展示します。

○カブトムシ・クワガタをはじめとする昆虫の無料配布（7月24日）

博物館周辺の自然と歴史にふれ、郷土への理解を深めていただきます。入館者に1人1匹のカブトムシ・クワガタ等の昆虫を無料配布します。

○夏休み親子体験イベント「河内大王に変身」（7月28日）

豪族の武器や宝物・石の勾玉づくりに挑戦し、衣装に着替えて卑弥呼や河内大王に変身してみます。

○夏休み自然素材を使って遊び道具をつくろう（8月4日）

竹や木を使って竹ぼっくり・ゴム鉄砲などを手づくりします。

- 夏休み考古学教室「君も今日からミニ考古学者」 (8月25日)
本物の土器・石器にふれてみます。土器の文様を写し取り、復原にチャレンジします。勾玉づくりにも挑戦します。
- はくぶつかんまつり (10月6日)
内容「 企画中 」
- 秋の体験イベント「自然素材を使った親子のものづくり」(11月23日)
博物館周辺にある秋の自然素材を使って、動物やクリスマスツリー・リースづくりをします。
- 年末の体験イベント「干支の置物とミニかどまつづくり」(12月22日)
秋に取れた稲わら、松ぼっくりや粘土を使って、干支の置物やミニチュアかどまつをつくり、昔の年末行事の一端にふれていただきます。
- 冬の体験イベント「節分を楽しもう」(2020年1月19日)
張り子の鬼の面づくりをとおして、年中行事を楽しんでいただきます。
- 昭和の体験イベント「わらぞうりをつくろう」(2020年2月9日・16日)
わらぞうりづくりをとおして、郷土の昔の暮らしを知っていただきます。
- 綿くり体験と綿の栽培に挑戦 (2020年3月12日～)
綿は、江戸時代に河内地域で盛んに栽培され、「河内木綿」として全国的に知られる製品となっていました。秋に収穫した実綿から綿くり機によって種を取り出し、その種をそれぞれ持ち帰り栽培してもらいます。
- 春休み考古学教室「君も今日から考古学者」 (2020年3月22日)
古墳探検や本物の土器・石器にふれてみます。土器の文様を写し取り、復原にチャレンジします。勾玉づくりにも挑戦します。
- 市民とともにつくる博物館の厳選資料の「絵はがき」の作成と配布
平成30年度に実施した入館者への常設展示資料のなかでの人気投票結果をもとに選んだ博物館資料を「絵はがき」として作成し、広く資料に対する理解を得ます。
絵はがきは、市内小・中学校、関連施設に無料配布するとともに、博物館で有料頒布を予定しています。

③ 古墳見学会、史跡ハイキング

- 古墳の定期見学会9 ～埋没古墳を訪ねる～ (4月29日)
博物館周辺にある古墳の定期見学会で、地下にねむる埋没古墳を訪ねたのちに博物館で出土品を見学します。(入館無料)
- 春の史跡ハイキング「花園ラグビー場周辺を巡る」 (5月19日)
花園ラグビー場周辺の史跡を訪ねます。参加者に記念品(綿の種)を進呈。
- 古墳の定期見学会10 ～山畑古墳群～ (10月13日)
博物館周辺にある山畑古墳群の見学会です。

○秋の史跡ハイキング「古都探訪—平城宮周辺の史跡めぐり—」(11月4日)

平城宮周辺の史跡をめぐります。

④ 講演会・講座など

○春季企画展示に伴う講演会「遺跡からみつかるとはなし」(5月12日)

成人の方を対象に、企画展示の内容に沿った講演を聴講したうえで展示資料を観覧していただきます。(「国際博物館の日」参加のため入館無料を予定)

講師：郷土博物館学芸員 中西克宏

○夏季企画展示2に伴う講演会「若江遺跡出土の輸入陶磁器」(7月14日)

成人の方を対象に、企画展示の内容に沿った講演を聴講したうえで展示資料を観覧していただきます。

講師：郷土博物館学芸員 金村浩一

○冬季企画展示に伴う講演会 仮題「未定」(2020年1月26日)

市民を対象に、企画展示の内容に沿った講演を聴講したうえで展示資料を観覧していただきます。

講師：未定

○特別展示に伴う講演会

成人の方を対象に、特別展示の内容に沿った講演を聴講したうえで、展示資料を観覧していただきます。(「関西文化の日」参加のため入館無料を予定)

・11月9日 講演：(仮題)「未定」

講師：未定

・11月10日 講演：(仮題)「未定」

講師：未定

○土曜講座 「世界の国々からやってきた品々」

成人の方を対象に博物館学芸員による郷土の歴史を様々な観点から学ぶ学習会です。今年度は「世界の国々からやってきた品々」を統一テーマとして検討してみます。(会場：埋蔵文化財センター)

・9月14日「世界からやってきた焼き物」 講師：博物館学芸員 山中信人

・9月21日「東大阪の渡来銭」 講師：博物館学芸員 金村浩一

・9月28日「炉から竈へ」 講師：博物館学芸員 中西克宏

○出前講座 「歴史講演会」

郷土博物館学芸員が地域に出向いて講演をします。

①角田総合老人センター シニア地域活動実践塾 歴史コース

・年3回開催予定 演題「未定」

②日下リージョンセンター企画運営委員会

・年4回開催予定 演題「未定」

③四条リージョンセンター企画運営委員会

- ・年1回開催予定 演題「未定」

④梶無神社（年6回開催予定）

- ・「船のはなし」（4月21日） 講師：郷土博物館 中西克宏
- ・「東高野街道と東大阪」（6月16日） 講師：郷土博物館 山中信人
- ・「神社周辺の鎌倉・室町時代」（9月15日） 講師：郷土博物館 金村浩一
- ・「神社と遺跡」（10月20日） 講師：郷土博物館 金村浩一
- ・「石の剣・玉・鏡」（12月15日） 講師：郷土博物館 中西克宏
- ・「恩智川と東大阪」（3月15日） 講師：郷土博物館 山中信人

⑤ その他

○博物館実習生の受け入れ

東大阪市周辺にある大学からの依頼に基づき、学芸員資格取得を志す学生に対して実習の機会を提供し、将来的な博物館活動の発展を図ります。

○職業体験、仕事の聞き取り学習の受け入れ

小・中学校の「総合的な学習の取り組み」に連携して、市内小中学校からの依頼により実施します。

○博物館学芸員体験ボランティアの受け入れ

高等学校等からの依頼により実施します。

○博物館の資料閲覧申請及び資料貸出申請事務

実物資料や写真資料などの申請者への閲覧業務及び貸出業務。

- ・博物館、資料館等の公共機関からの申請
- ・教科書の掲載出版社からの申請
- ・その他の機関からの申請

○団体見学時における資料解説

○教育委員会（文化財課）が主催する資料展示会等への協力等

東大阪市立埋蔵文化財センター

市内の遺跡や古墳から出土した土器や石器などの調査・整理・保存・展示に加え、「古代の生活を体験しよう!!」をキャッチフレーズに来館者自ら体験学習をする機能を有した施設であり、老若男女を問わずどなたでも気軽に「見て、触れて、そして作る。」を目的としています。

また、歴史を学ぶ講演会（東大阪市文化財課主催）や土曜講座（郷土博物館主催）など、市の文化財保護行政と連携協力を図りながら市民文化の向上に努めています。

◇主な事業

① 収蔵品展示

- 「縄文人の美」（4月1日～11月4日）

今から12000年前～2500年前頃の遺跡から、縄文人が作ったアクセサリーや使った道具が見つかっています。また、縄文土器の丁寧につけられた文様から縄文人の強いこだわりも伺うことができます。

- 「弥生人の美」（11月9日～2020年11月3日）

市域にある弥生時代の遺跡から見つかった資料によって、弥生人の美意識を探っていきます。

② センター内の部屋の借り受け

- 土曜講座（視聴覚室） 郷土博物館主催

市民の方を対象に博物館学芸員による郷土の歴史を様々な観点から学ぶ学習会です。

今年度は「世界からやってきた品々」を統一テーマとして3回の講座に分けて紹介します。

- ・9月14日「世界からやってきた焼き物」 講師：博物館学芸員 山中信人
- ・9月21日「東大阪の渡来銭」 講師：博物館学芸員 金村浩一
- ・9月28日「炉から竈へ」 講師：博物館学芸員 中西克宏

- 古文書講座「中級編」（学習室） 鴻池新田会所主催

多種多様な古文書を読みこなします。（「初級編」受講済みの方に限る）

全22回×金曜日・土曜日コース 定員：各コース18名

③ 受け入れ図書等の登録業務を行ないます。

④ その他、教育委員会主催事業等への協力を行ないます。

- 体験学習、歴史講演会、春休みや夏休みのイベント事業等。
- 日本の年中行事を題にした期間限定のオリジナル勾玉（滑石）づくり。

鴻池新田会所

会所の歴史並びに民具や会所に関する資料収集・保存・管理を行うとともに、会所の建物群、庭園の公開並びに新田開発に関する資料と民具の展示等に加えて、会所を活かしたさまざまな事業（座敷や庭園での茶会の開催、歴史に関する講習会、コンサート、体験学習等）を通じて、市民が郷土文化や歴史に関する学習を深め広く理解してもらえるよう普及啓発事業を図ります。

◇主な事業

① 展示

○オープンエアミュージアム事業（通年）

国史跡・重要文化財に指定されている建造物とその付帯施設、鴻池家から寄贈された民具類を一般公開。新田会所に関連する歴史学習の場を提供します。

○コーナー展示

「菖蒲の節句」（4月27日～5月10日）

会所に遺されている節句の飾りを展示します。

○特別展

「鴻池家の茶器」（6月15日～7月15日）

鴻池10代当主・幸富は数寄物で茶道に傾倒していました。鴻池新田会所に伝わる茶碗や釜、石臼など40点の茶器を展示します。

○コーナー展示

「七夕」（6月29日～7月7日）

会所に遺されている七夕飾りを展示します。

○パネル展示「大和川と淀川」（10月29日～12月上旬）

本会所とその周辺地域が寝屋川流域を介し、大和川と淀川に深くかかわってきた地理・歴史を主に、小学校4年生の社会科学習に役立つようにパネル展示を行いません。期間中は一般観覧者への解説も行います。

○鴻池家寄贈民具展「むかしの道具いろいろ」（2020年1月7日～3月1日）

主に小学校3年生の学習に供されるよう鴻池家寄贈資料の一部を乾蔵で展示します。火鉢・ランプ・提灯・かご・人力車・ラジオ・蓄音機・天秤ばかりなど。古い秤で重さを計る体験コーナーも作ります。

展示期間中は本屋ではふだん公開していない風呂や廁を観覧できるようにします。

② 体験学習等

○むかししごとのワークショップ「木工のたくみ」（7月20日）

のこぎりや小刀、鉋（かんな）の使い方を学びながら箸を作ります。

小・中学生対象で夏休みの課題として利用できます。参加費無料。（入館料必要）

講師：川端 徹氏（家具職人）

○「こども3D教室」(7月27日・28日)

小学校高学年～中学生を対象に文化財資料を写真計測し、そのデジタルデータから3Dプリンタで模型を作成します。

○むかししごとワークショップ「チャレンジ藍染」(8月24日)

藍の生葉から染め液を作り、ハンカチやTシャツを染めます。

幼稚園児、小・中学生対象。参加費無料。(入館料必要)

○むかししごとワークショップ「綿しごと」(11月16日・17日)

(関西文化の日参加事業)

会所で収穫した棉(わた)を使い、糸ができるまでの綿くり・綿うち・糸紡ぎを体験します。自由参加。

○むかししごとワークショップ「正月飾り」(12月7日)

子どもの方はペーパーラフィアのしめ縄とミニ門松をつくります。成人の方は伝統的なしめ縄づくりを体験します。子どもとその保護者の組みを対象。(成人のみの参加も可能)参加費無料。(入館料必要)

○むかししごとワークショップ「もちつき」(12月15日)

会所のかまどで餅米を蒸し、杵・石臼を使って昔ながらの「もちつき」を体験します。子どもと保護者の組みを対象。参加費無料。(入館料必要)

○焼き芋道場(12月21日)

会所土間のかまどの火で芋を焼きます。

子どもと保護者の組みを対象。参加費無料。(入館料必要)

③ 史跡ハイキング・講演会・講座

○史跡ハイキング1「平野川を辿る 街道をゆくー暗越え奈良街道(1)」(4月14日)

鳴野から平野川流路跡を辿り、玉造から暗越え奈良街道を深江まで歩く平坦な12kmの行程。申込み必要。

○史跡ハイキング2「生駒山登山ー地蔵を愛でハザードマップをよむ」(4月28日)

生駒登山の代表的な音川・辻子谷コースの旧跡を辿るとともに、ハザードマップと立体的に見た空中写真を参考に土砂災害危険地域を観察します。申込み必要。

○史跡ハイキング3「まぼろしの港、長柄船瀬を探る」(9月29日)

古代のまぼろしの港である長柄船瀬は淀川と大和川が合流する都島周辺に比定されています。大日駅を出発し、地名を読み、地形を観察しながらまぼろしの港を探り、放出を目指します。申込み必要。

○史跡ハイキング4「企画中」(10月13日)

○近世史講座(5月9・16・23・30日・6月6日)

江戸時代の菱江村、中野村、稲葉村、岩田村、若江村を取上げます。

参加費300円(初回入館料のみ)

○歴史講座①「淀川の治水戦略と耕地開発」(5月26日)

近世から近代の淀川治水事業とともに変貌した沿岸の耕作地開発の歴史を考えます。 当日先着順。

講師：新田会所学芸員 別所秀高

○歴史講座②「第二寝屋川掘削の意義」(6月2日)

東大阪市を流れる第二寝屋川の掘削計画の治水史的な意義を、当時の設計者の論文を読み解きながら考え、工事後の沿岸の水害についても検討します。

当日先着順。 講師：未定

○歴史講座③「 企画中 」(10月6日)

○歴史講座④「 企画中 」(10月20日)

○超入門「植木剪定講座」(11月27・28・29日)

会所の生垣や低木を教材として、はさみやトリマーなどの剪定道具の使い方を学びます。 3日間参加可能な方を対象。 参加費 300 円 (初回入館料のみ)

○古文書講座

[入門編] 河内屋南新田・深野南新田の古文書をテキストに、くずし字解読の基礎を学びます。 参加費 300 円 (初回入館料のみ)

9月26日～10月24日 全5回

[初級編] 江戸時代の刊本をテキストに、かな文字の解読を習得します。(入門編修了者を対象) 参加費 300 円 (初回入館料のみ)

10月31日～11月28日 全5回

[中級編] 多種多様な古文書を読みこなし、博物館等で古文書の見学をします。(初級編修了者を対象) 参加費 500 円 (年間資料代)

金曜コース 4月12日～2020年3月20日 全22回

土曜コース 4月13日～2020年3月21日 全22回

場所：埋蔵文化財センター

④ 地域連携事業の拡充

○近隣自治会、住民との連携事業の拡充

周濠の清掃事業等、近隣自治会及び住民と共同事業を実施します。また、鴻池ジャズや落語会のように近隣住民が主催する行事、地元自治会が実施する餅つき等の行事について、場所の提供や広報活動にも協力を行っていきます。

また、会所が催す各種の行事にも近隣の鴻池元町、鴻池本町、鴻池新町の各自治会に参加を要請し、教育委員会の承認を得て招聘を行います。

○子どもたちやファミリー層への働きかけ

会所への入館者は、60才以上の高齢者や40才以上の壮年層が多数を占め、若年層やファミリー層の入館者が少なく、子どもたちも団体入館者を除けば少数であることから、まず、近隣の子どもたちにも会所に来てもらえるように、新たに「こども3D教室」や「やきいも道場」などの体験学習を企画し、広報活動も行います。

○小学生団体見学への対応

小学生団体見学に対しては、これまでも主に3年生向けの展示「むかしの道具いろいろ」を例年1・2月に行っていますが、平成31年度からは、大和川の付け替え、淀川の治水を学習する4年生を対象にしたパネル展示を行ない、団体見学を受け入れる体制を整えます。

○府下四会所跡施設との連携、共同事業

従来からのスタンプラリー「四会所地図」「四会所絵葉書」の配布を継続します。また、「関西文化の日」などの観覧客の動きの活発な機会を利用し、相互に連携した活動を企画中です。

⑤ その他

○河内木綿継承事業（通年）

江戸時代に河内地方の主要産物であった河内木綿を、会所敷地内で栽培収穫し、新田開発と木綿生産が密接な関係であったことを啓発するため、種と苗木を無料配布します。

種は4月1日～、苗木は6月1日～。 12月24日～クチナシの実を配布。

○コスプレフェスタ（4月13・14日・5月12日・6月9日）

（9月22日・10月13日・11月10日、12月8日）

古建築を背景に時代ものコスプレヤーに撮影を楽しんでいただきます。また、一般入館者向けのコスプレ無料体験コーナーも設けます。共催：COSJOY（コスジョイ）

○鴻池新田会所・茶会（5月3日）

東大阪市茶花道協会の皆さまによる茶会を開催します。

茶券400円（予定） 入館料必要。

○伝統芸能鑑賞会

1) 「南京玉すだれ」（5月6日）

昔なつかしい南京玉すだれや創作玉すだれ、皿回しなどの演技をお披露目します。即席「玉すだれ教室」も開催します。参加費無料。入館料必要。

出演：河内小梅

2) 「山村流上方舞」(9月23日)

山村流女流舞踊家による上方舞を上演します。

当日先着順。鑑賞無料。入館料必要。

出演：山村流上方舞倫の会

3) 「鴻池新田会所寄席」(11月3日)

素人寄席「天満天神の会」による落語会です。

当日先着順。視聴無料。入館料必要。

○蓄音機コンサート+聞きくらべライブ(5月19日)

希少な蓄音機によるSPレコード鑑賞会とライブ演奏です。

当日先着順。参加費無料。入館料必要。

○東大阪市民美術センター「出張美術展」(9月初旬予定)

○鴻池ジャズストリート・メインコンサート(10月27日)

東大阪市ジャズストリート実行委員会主催の協賛事業。プロプレーヤーによるジャズコンサート。旧大和川ストリート実行委員会との共催。入場券必要。

(4) 文化芸術活動等を推進する施設の管理運営事業

市民美術センター

- ① 施設利用申込みの受付、使用許可、使用許可の取消し
- ② 施設使用料等の徴収、使用料の減額及び免除並びに還付
- ③ 施設設備の維持管理業務
- ④ その他施設の管理に関すること

児童文化スポーツセンター

- ① 施設観覧及び使用申込みの受付、使用許可及び取消し
- ② 使用料、観覧料の徴収及び使用料の還付
- ③ 施設設備の維持管理業務
- ④ その他施設の管理に関すること

文化財施設（郷土博物館、埋蔵文化財センター、鴻池新田会所）

- ① 郷土博物館の観覧料及び閲覧料の徴収
- ② 郷土博物館の資料閲覧・貸出申請書及び観覧料・閲覧料免除申請書の受付
- ③ 郷土博物館の施設設備の維持管理業務
- ④ 埋蔵文化財センターの観覧及び閲覧や貸出の申請書の受理及び貸出業務
- ⑤ 埋蔵文化財センターの体験学習等の材料の販売及び代金の納付
- ⑥ 埋蔵文化財センターの施設設備の維持管理業務
- ⑦ 鴻池新田会所の施設使用許可申請書及び観覧料・施設使用料免除申請書等の受付
- ⑧ 鴻池新田会所の観覧料及び施設使用料の徴収等
- ⑨ 鴻池新田会所の施設設備の維持管理業務
- ⑩ 教育委員会や市発行の刊行物の販売及び代金の納付
- ⑪ 図書・資料類の受入れ、保存整理、登録
- ⑫ 文化財に関する広報活動